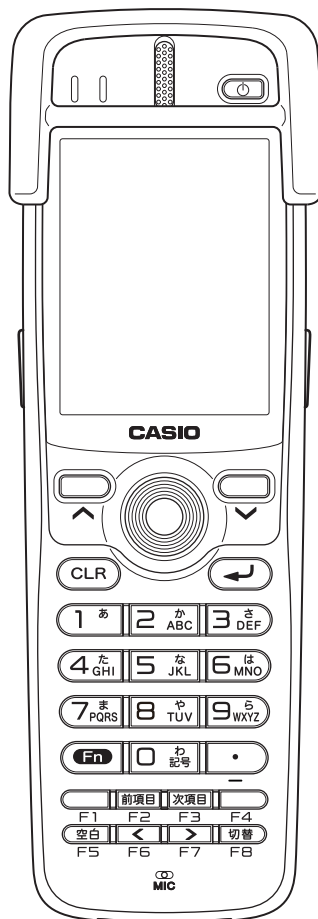


CASIO®

ハンディターミナル DT-X100シリーズ

取扱説明書

- この取扱説明書は、本機の基本的なご使用方法および取り扱いについて説明してありますのでご使用前にひと通りお読みください。
- ご使用前に「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も大切に保管してください。
- 保証書の記入を確認の上、取扱説明書とともに大切に保管してください。



登録商標について



Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc., U.S.A が所有する登録商標で、カシオ計算機はライセンスを取得しています。Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

適合規格について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品の使用済後の取扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただけますようお願い申し上げます。

回収申込方法は、カシオホームページ【<https://s.casio.jp/f/10153ja/>】でご案内しております。

本製品は二次電池を使用しております。交換後のリサイクルにご協力ください。

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機（株）では、地球環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりました二次電池の回収・再資源化活動を行っております。弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

回収については、カシオホームページ【<https://s.casio.jp/f/10146ja/>】でご案内しております。

技適マークについて

本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として「技適マーク」が端末内に確認できるようになっています。

安全上のご注意

- このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- ・ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 - ・本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止



記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



プラグを抜く



記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

使用上のご注意



警告



分解禁止

■ 分解・改造しないでください

- 本機を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また、高温になる部分がありやけどの原因となります。



注意

■ 異常状態で使用しないでください

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電池を取り外してください。購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターにご連絡ください。



注意

■ 異物が中に入ったり、破損したときは

- 万一、異物が本機の内部に入ったり、破損した場合は、電源を切り、購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

■ 水などがかからないようにしてください

- DT-X100 は防水仕様ですが、オプションのクレードル等は防水仕様ではありませんので、水などがかからないようにしてください。
- また、DT-X100 を濡れた状態で装着しないでください。水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



■ レーザ光をのぞき込まないでください

- 本機は、レーザ光が照射されます。
- レーザ光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。



注意

■ 引火性ガスが発生する場所では

- ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。ガスに引火するおそれがあります。



禁止

■ 火中に投入しないでください

- 本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

■ 異物が入らないようにしてください

- 内部に金属物や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。

■ 設置場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中に長時間放置しないでください。

■ 本機の上に重いものを置かないでください

- 重いものを置くと、置いたものがバランスをくずして倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 通電中の本機を長時間肌に触れないようにしてください

- 使用中に本機の裏面で温度の高くなる部分があり、低温やけどの原因となることがあります。

無線通信機能の取り扱いについて

⚠ 警告



注意

■ 他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

- 病院内や医療用電気機器のある場所での使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。特に手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室や特に医療機関側が本機の使用を禁止した区域では、本機の無線通信機能を OFF にするか本製品の電源を切ってください。
電波により医療用電気機器に影響を及ぼすことがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 15cm 以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるため、無線通信機能を OFF にするか本製品の電源を切ってください。電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 各航空会社では、航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器、電子機器の使用を禁止しております。航空機内では無線通信機能を OFF にしてください。電子機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意



注意

■ 他の電子機器への干渉について（無線機能を使用する場合）

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。

使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合など困りのことが起きたときは、「修理に関する窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

2.4FH1

この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、干渉距離は 10m です。

2.4DS/OF4

この無線機は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS および OFDM 方式を採用し、干渉距離は 40m です。

オプションのリチウムイオン充電電池パックについて

⚠ 危険



禁止

- 充電電池パックを水や海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックは指定された機器以外で使わないでください。指定機器以外の用途に使うと、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。充電器や機器に取り付けるときはプラス・マイナスを逆に接続しないでください。プラス・マイナスを逆に接続すると、充電電池パックが漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを火の中に投入したり、加熱したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックの⊕と⊖端子を針金などでショートさせないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。金属類が端子に触れてショートすると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。充電電池パックを持ち運ぶときや保管するときは、充電電池パックに付属のソフトケースを取り付けてください。
- 充電電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックに釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックを分解したり、改造したりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの充電は専用充電器を使用してください。他の充電器で充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。

⚠ 警告



禁止

- 充電電池パックを電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから異臭がする、発熱、変色、変形している場合は使用しないでください。そのまま使用すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、充電電池パックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。この異常な充電電池パックを充電すると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 所定の時間を超えても充電が完了しない場合は充電を中止してください。そのまま充電を続けると、充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。
- 充電電池パックから液がもれていたり、異臭がする場合は火気から遠ざけてください。引火して充電電池パックを破裂、発火させる原因となります。
- 充電電池パックからもれた液が目に入ったときは、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、ただちに医師の診断を受けてください。
- 充電電池パックを間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。

⚠ 注意



禁止

- 充電電池パックを直射日光の当たるところや炎天下の車内など高温のところで使用したり、放置したりしないでください。充電電池パックが発熱、発火させる原因となります。また、充電電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 静電気の発生する場所で充電電池パックを使わないでください。充電電池パックが発熱、破裂、発火する原因となります。



注意

- 充電電池パックからもれた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 充電電池パックは小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。また、使用中は小さなお子さまが充電器や使用機器から取りはずさないようご注意ください。
- 使用済の充電電池パックは、取扱説明書に従って処分してください。

AC アダプタの使用について

⚠ 警告



禁止

- AC アダプタは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・表示された電源電圧以外では使用しない
 - ・タコ足配線はしない
 - ・傷つけない、破損させない
 - ・分解しない、改造しない
 - ・電源コードに重いものをのせない、加熱しない
 - ・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない
 - ・電源コード、AC アダプタの清掃には洗剤は使用しない
 - ・接続部をこじらない



注意

- 電源コードが傷んだまま（芯線の露出、断線など）使用すると火災、感電の原因となりますので、ただちに使用をやめて購入先またはカシオテクノ・PA リペアセンターに修理をご依頼ください。

⚠ 注意



注意

- AC アダプタは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ・必ず専用 AC アダプタを使用する
 - ・ストーブなどの熱器具に近づけない
 - ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
必ずプラグを持って抜く
 - ・濡れた手で電源プラグに触れない
 - ・電源コードは必ず AC アダプタに付属のものを使用する
 - ・電源コードは、本機以外の電気機器で使用しない
 - ・液体や異物が入らないよう注意する
 - ・電源コードが簡単に届き電源プラグの抜き差しが容易な場所を選んでください
 - ・使用するときの電源は必ず指定された電源・電圧のコンセントを使用し、電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



- ケース表面が、ある程度の熱を出すので、注意してください。



- 感電に、注意してください。



プラグを抜く

- AC 電源は使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のときは AC 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・清掃時
 - ・使用后
 - ・長期間ご使用にならないとき
 - ・移動させるとき（電源コードが引っ張られ傷つきます）

重要なデータは控えをとっておいてください

⚠ 注意



注意

- 本機を使用したことおよび故障／修理や電池消耗などにより、データが消えたり、変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社ではその責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- 本機は、電子メモリを使用しているため、電池が消耗したまま放置したり、電池交換の仕方を誤ったりして一定の電源が供給できなくなると、データが消えたり変化する場合があります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。

カシオ純正充電電池パックをご使用ください

危険



注意

- カシオ製機器にはカシオ純正の充電電池パックをご使用いただくことをお勧めしております。カシオ純正の充電電池パックは、お客様が安全に商品をご使用いただくために、カシオ計算機で安全、品質を確認した商品です。一部カシオ純正でない充電電池パックが流通しておりますが、このようなカシオ純正以外の充電電池パックが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。充電電池パックをお買い求めいただく際には、充分にご注意いただき、カシオ純正の充電電池パックをご購入ください。

使用上のご注意

本機は精密機器です。使いかたを誤ったり乱暴に扱うと、データが正常に保存できなくなったり故障することがあります。次の注意をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いください。

- **電池が消耗した状態で使い続けないでください。**
データが消えたり変化することがあります。電池が消耗したら、すぐに電池を充電してください。
- **各機種の使用温度の範囲内でご使用ください。**
範囲外で使用するとう故障の原因となります。
- **次のような場所での使用は避けてください。**
本機の故障、破損の原因になります。
 - ・ 静電気が発生しやすいところ
 - ・ 極端に高温または低温のところ
 - ・ 湿度の高いところ
 - ・ 急激な温度変化が起こるところ
 - ・ ほこりの多いところ
- **本機の清掃に、シンナー、ベンジンや化粧品などの揮発性の薬剤を使わないでください。**
本機が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- **充電電池パックについて**
充電電池パックには寿命があります。充電のしかたによっては、充電電池パックの劣化が進み、容量が低下してご利用できる時間が短くなります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の新しい充電電池パックと交換してください。
充電電池パックを長持ちさせるために、正しい充電方法でお使いください。
 - ・ 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときはご使用前に必ず充電してください。充電の際は、インジケータ 1 が緑色点灯（満充電）するまで充電してください。
 - ・ 頻繁に充電を繰り返すと寿命が短くなります。なるべく残量が少なくなってから充電してください。
 - ・ 指定の温度範囲で充電してください。指定の温度範囲は機器により異なります。取扱説明書を参照してください。範囲外での充電は電池を劣化させる原因になります。
 - ・ 低温環境でのご使用は、充電電池パックの容量が低下しご使用できる時間が短くなります。また、充電電池パックの寿命も短くなります。
 - ・ 充電電池パックが冷えている状態での充電は電池を劣化させる原因になります。低温環境での作業後は、充電電池パックを常温に戻して（1 時間程度放置して）から充電してください。
 - ・ 長期間保存する場合は充電電池パックが満充電の状態でご保存しないでください。長期間保存するときは、電池残量が 30 ～ 50% の状態で、低温下でご保存してください。電池の劣化が少なくなります。
 - ・ 充電電池の劣化は、時間の経過でも進行します。特に、満充電状態での高温保存（使用）は、短期間での劣化を招くことがあります。
- **通信／給電端子をとときき乾いた綿棒などで掃除してください。**
汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
- **薬品類に注意してください。**
シンナー、ガソリン、灯油、各種溶剤、油脂、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類などが付着すると樹脂ケース、カバーなどに変色や破損を生ずることがありますので、ご注意ください。
- **通信／給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のため AC アダプタを抜いてから、通信／給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。**
- **DT-X100 は JIS 防沫型に準拠しておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。**
 - ・ 多量の雨や水滴がついたときは、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
 - ・ 雨中で長時間使用しないでください。
 - ・ 充電電池パックカバーを確実に閉めてご使用ください。
 - ・ 雨中で画面やキーを強く押さないでください。
- **使用中に本機の裏面が熱くなることがありますが、故障ではありません。**
- **液晶パネルについて**
 - ・ 液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は 99.99% 以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。
 - ・ 液晶パネルを強く押すと跡が残ることがありますが、故障ではありません。本体の電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直すことで押し跡は見えなくなります。
- **無線 LAN について**
IEEE802.11a/n の 5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）は電波法により屋外での使用が禁じられています。

- 本書の内容に関しては、将来仕様改良などにより予告なしに変更することがあります。
- 本書の使用による損害および不利益などにつきましては弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法などは記載いたしておりませんので、ダウンロードなどに関しては、別資料をご覧ください。

保証およびサービスについて

- 保証書は製品に添付しておりますので、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。保証書に「品名」「保証期間（購入日）」「購入先名」などの所定事項が記入されていないと無効となり、無償修理などを受けることができません。もし記入されていないときはすぐにお買い上げの購入先に申し出て記入してください。
- 万一故障した場合は機種名およびお買い上げ日と故障内容をお買い上げの購入先までご連絡ください。
- 安心して機械をご使用いただけるように、購入時に「保守契約」を締結されることをお勧めいたします。

安全上のご注意.....	3
使用上のご注意.....	8
はじめに	9
付属品とオプション品について	12
各部の名称とはたらき	13
充電電池パックの取り付け / 取り外し.....	15
取り付け	16
取り外し	17
ハンドストラップの取り付けかた.....	18
本機の設定について	19
マウスエミュレータ機能を使う	19
画面の明るさを調節する	21
画面の明るさを自動減光する.....	21
レーザースキャナの取り扱い	
(DT-X100-10J)	22
接触読みガイドの取り付けかた	
(DT-X100-10J)	23
警告ラベルについて	24
バーコードをスキャンする位置.....	24
レーザ発光幅調整法について	25
CMOSイメージャの取り扱い	
(DT-X100-20J)	27
警告ラベルについて	28
Bluetooth® 通信.....	29
リセットのしかた.....	30
フルリセット(ハンディターミナルの初期化)について	31
DT-X100の仕様.....	32
USBクレードル(HA-F60IO/HA-F60IOA)の	
取り扱い	36
各部の名称とはたらき	36
USBクレードルの電源の取り付けかたと接続.....	38
USBクレードル(HA-F60IO/HA-F60IOA)の仕様	41

LANクレードル

(HA-F62IO/HA-F62IOA)の取り扱い 42

各部の名称とはたらき	42
LANクレードルの電源の取り付けかたと接続	44
LANクレードル(HA-F62IO/HA-F62IOA)の仕様	48

置くだけ充電器(HA-F30CHG)の取り扱い 49

各部の名称とはたらき	49
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続	50
置くだけ充電器(HA-F30CHG)の仕様	51

置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の

取り扱い 52

各部の名称とはたらき	52
付属品	53
充電のしかた	54
2台以上の接続	55
置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の仕様	56

デュアル充電器(HA-F32DCHG)の取り扱い 57

各部の名称とはたらき	57
付属品	57
充電のしかた	59
2台以上の接続	60
デュアル充電器(HA-F32DCHG)の仕様	61

充電池パック(HA-F20BAT/HA-F21LBAT)の

取り扱い 62

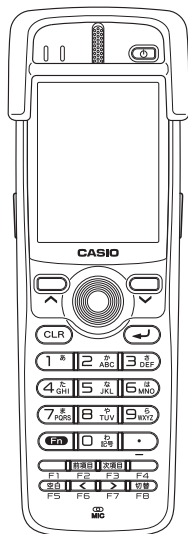
標準充電池パック(HA-F20BAT)の仕様	62
大容量充電池パック(HA-F21LBAT)の仕様	62

ハンドベルト(HA-F95HB)の取り付けかた..... 63

同梱品	63
取り付けかた	63

付属品とオプション品について

DT-X100 シリーズ
(本体)



付属品一覧

本機をはじめてお使いになる前に、箱の中身を確認してください。
本体には、標準充電電池パックカバーとプロテクタが装着されています。

- ハンドストラップ
- 大容量充電電池パックカバー
- 接触読みガイド (DT-X100-10J のみ)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

オプション品一覧

- USB クレードル HA-F60IO/HA-F60IOA
- LAN クレードル HA-F62IO/HA-F62IOA
- 置くだけ充電器 HA-F30CHG
- デュアル充電器 HA-F32DCHG
- 置くだけ充電器用 AC アダプタ AD-S15050B
- USB クレードル / LAN クレードル /
デュアル充電器用 AC アダプタ AD-S42120C
- USB ケーブル (クレードル・PC 接続用) DT-380USB-A
- 標準充電電池パック HA-F20BAT
- 大容量充電電池パック HA-F21LBAT
- 置くだけ集合充電器 HA-F36DCHG
- 置くだけ集合充電器用 AC アダプタ AD-S60160B

各部の名称とはたらき

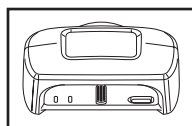
本体 (DT-X100)

<天面>

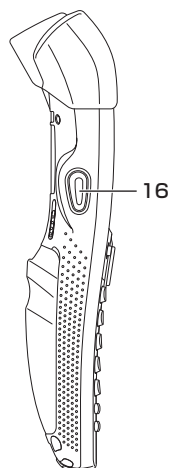
DT-X100-20J



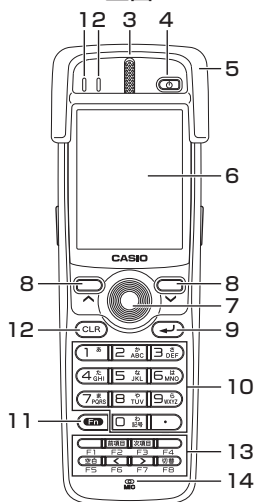
DT-X100-10J



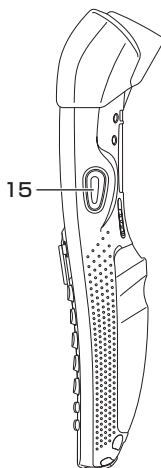
<左側面>



<正面>

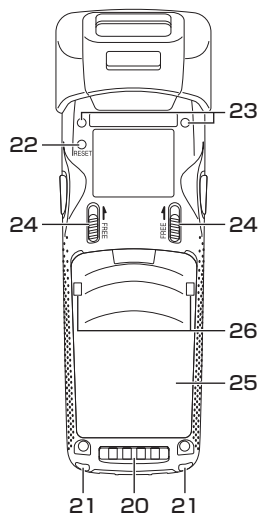


<右側面>

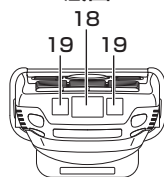


<裏面>

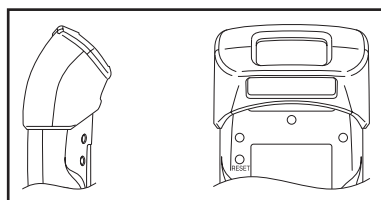
DT-X100-20J



<底面>



DT-X100-10J



1	インジケータ 1	オレンジ色点灯 : 充電中 緑色点灯 : 充電完了 赤色点滅 : 電池パックの異常または充電可能温度範囲外
2	インジケータ 2	BT 使用時は青色に、WLAN 使用時はオレンジ色に点滅します。バーコードが正常に読み取れたときは緑色に点灯します。本体がパソコンと USB 接続状態になると、マゼンタ色に点滅します。
3	スピーカー	アラーム音など、各種音声が出力されます。
4	電源キー	電源を ON/OFF するキーです。
5	プロテクタ	本体に装着されています。接触読みガイドを取り付けるときは、外してください。

6	画面	文字や操作の指示などが表示されます。
7	センタートリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。任意の機能を設定することもできます。
8	カーソルキー	パソコンの上下キーと同等の働きをします。
9	決定キー	数値入力 of の完了あるいは次のステップへ実行を移すときに押します。
10	テンキー	数値や小数点を入力するときに押します。
11	Fn キー	ファンクションキーやテンキーと組み合わせて、各種の設定をするとき、また、あらかじめ登録されているアプリケーションを起動するときに使用します。
12	CLR キー	入力したキーの左 1 文字を取り消すときに押します。
13	ファンクションキー	バーコード読み取り以外の任意の機能を設定することが可能なキーです。 初期設定では次のようになっています。 F1：パソコンの Alt キーと同等の働きをします。 F2：おもにパソコンの Shift+Tab キーと同等の働きをします。 入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F3：おもにパソコンの Tab キーと同等の働きをします。 入力もしくは選択する項目の移動に使います。 F4：なし F5：スペースを入力 F6：パソコンの左カーソルキーと同等の働きをします。 F7：パソコンの右カーソルキーと同等の働きをします。 F8：文字入力切替 (数→ひらがな→カタカナ→アルファベット (大文字) →アルファベット (小文字))
14	マイク	音声を入力します。
15	R トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。
16	L トリガーキー	バーコードを読み取る操作をするキーです。
17	バーコード読み取り口	この窓からレーザーが照射され、バーコードを読み取ります。
18	赤外線通信ポート	IrDA プリンタとの通信に使います。
19	給電端子	クレードルや置くだけ充電器からの給電に使います。
20	データ通信端子	データ通信を行う端子です。
21	ストラップホール	ハンドストラップを取り付けます。ハンドベルトを取り付けるときも使います。
22	リセットスイッチ	リセットするときに押します。
23	ハンドベルト取り付け部	ハンドベルトを取り付けます。
24	充電電池パックカバーロックスイッチ	充電電池パックカバーを開けるときにスライドさせます。
25	充電電池パックカバー	この中に充電電池パックを取り付けます。
26	クレードル固定部	別売のクレードルに固定するときに使います。(HA-F6010A/HA-F6210A 使用時)

■ 充電電池パックの取り付け／取り外し

本機では 2 種類の電池を使います。

本機の動作に使用するメイン電池とメモリ保護に使用するバックアップ電池があります。

メイン電池には、充電電池パックを使います。使用できる充電電池パックは 2 種類あり、標準充電電池パック（HA-F20BAT）と大容量充電電池パック（HA-F21LBAT）があります。

バックアップ電池は、本体に内蔵されています。

本書では使用する電池を次のように記載しています。

メイン電池 ： 動作用の充電電池パックのこと

バックアップ電池 ： 本体に内蔵されたメモリ保護用の電池のこと

充電電池パック ： メイン電池として使用する、標準充電電池パック（HA-F20BAT）と大容量充電電池パック（HA-F21LBAT）の総称

メイン電池が消耗したら、すみやかに充電を行うか充電済みの充電電池パックに交換してください。

充電電池パックは、デュアル充電器、置くだけ充電器、置くだけ集合充電器、USB クレードル、LAN クレードルを使用して充電できます。

充電方法は各機種の取り扱いのページを参照してください。

■ 使用上のご注意

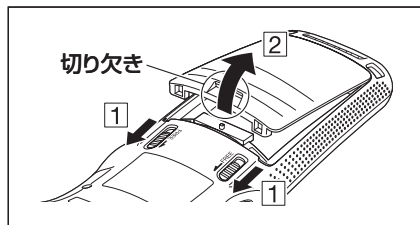
■ 重要なデータは控えをとっておいてください

- メイン電池は動作用およびメモリ保護用の電源、バックアップ電池はメモリ保護用の電源となっていますので、バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずさないでください。バックアップ電池が消耗した状態でメイン電池をはずすと、データが消えたり変化することがあります。失ったデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ず控えをとっておいてください。
- 充電電池パックは出荷前の製品検査や自然放電により、電池電圧が低下していることがあります。使用前に必ず充電をしてください。
- 充電電池パックは、充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったら充電電池パックを交換してください。
- 電池寿命を過ぎて使用すると、電池パックがふくれる場合があります。そのようなときは充電電池パックを交換してください。
- バックアップ電池が満充電の場合、メイン電池を外しても約 10 分間メモリ (RAM) のバックアップを行うことができます。
- バックアップ電池は、メイン電池がセットされた状態において 4 日間で満充電の状態になります。

取り付け

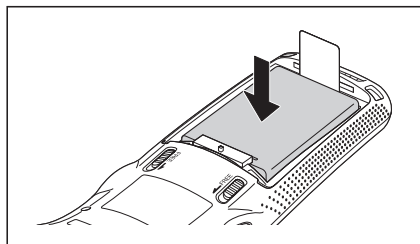
- 1 本機を裏返します。
- 2 次の手順で充電電池パックカバーを取り外します。

- ① 左右の充電電池パックカバーロックスイッチを同時に矢印の方向にスライドさせます。
- ② スイッチを押さえたまま、充電電池パックカバーの切り欠きに指先をかけて矢印の方向に引き上げます。

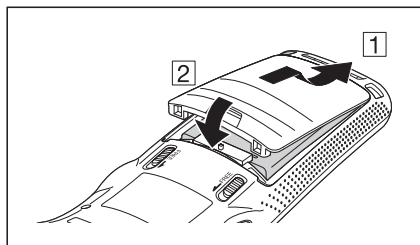


- 3 標準充電電池パック (HA-F20BAT) または大容量充電電池パック (HA-F21LBAT) を取り付けます。向きを間違えないように注意してください。

また、取り出しテープの端が充電電池パックの上に出た状態になるように取り付けてください。

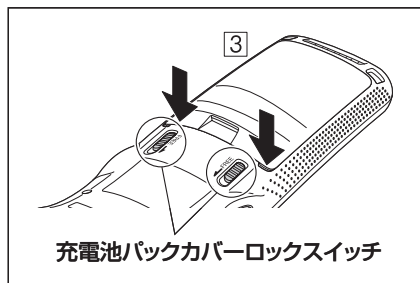


- 4 ①②の順番で、充電電池パックカバーを本機にはめ込みます。



図のように、2ヵ所を矢印の方向にロックスイッチが完全に下がるまで、カバーをしっかりと押し込んでください③。

- ※ 充電電池パックカバーロックスイッチが戻っていることを確認してください。
- ※ 大容量充電電池パックのときは大容量充電電池パックカバーを取り付けてください。



取り外し

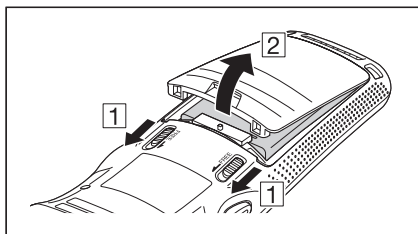
- 1** 電源がOFFになっているのを確認します。

電源が入っていたら、電源キーを押して、必ずOFFにしてください。

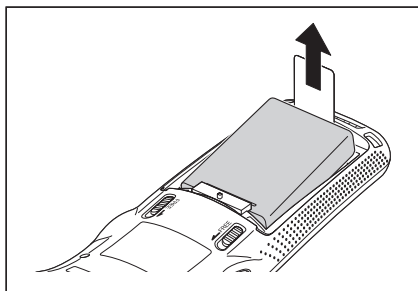
- 2** 本機を裏返します。

- 3** 次の手順で充電電池パックカバーを取り外します。

- ① 左右の充電電池パックカバーロックスイッチを同時に矢印の方向にスライドさせます。
- ② スイッチを押さえたまま、充電電池パックカバーの切り欠きに指先をかけて矢印の方向に引き上げます。



- 4** 図のように充電電池パックを取り出します。



使用上のご注意

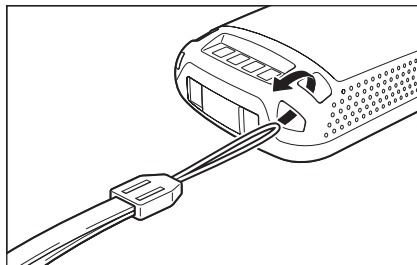
- 充電電池パックの交換は10分以内に行ってください。
- 10分以上充電電池パックを外した状態が続くと、本体に記録されたデータは消えてしまいますのでご注意ください。
- 指定された電池以外は使用しないでください。
- 充電電池パックは、取り出しテープを真上に引き上げて取り出してください。無理に取り出すと破損の原因となります。
- 充電電池パックカバーが確実にセットされロックされていることを確認してご使用ください。

確実にセットされていない場合、電源が入らないまたは使用中に電源がオフすることがあります。

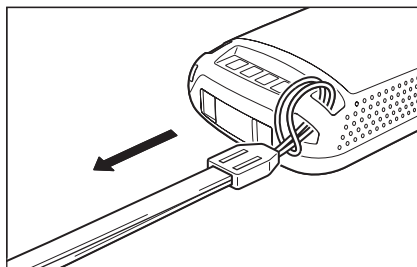
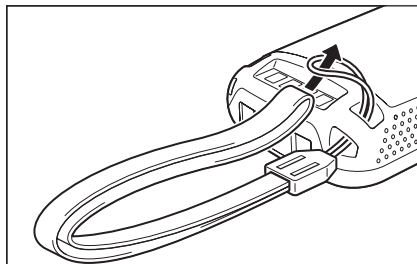
■ ハンドストラップの取り付けかた

本機は、移動するときに落下防止用として、ハンドストラップが使用できます。
ストラップホールは2ヶ所ありますので使い勝手の良い方を使用してください。
ハンドストラップは次の手順で取り付けてください。

- 1 本体裏面のハンドストラップ取り付け部に
ハンドストラップの細いひもの輪の部分を通します。



- 2 反対側のひも(手首にかける部分)を細いひもの輪に通します。



使用上のご注意

ハンドストラップを持って、本体をふりまわさないでください。

■ 本機の設定について

マウスエミュレータ機能を使う

マウスエミュレータ機能とは、マウスカーソルを使って設定や調整を行うことのできる機能です。

お使いになるときは、下の手順でマウスエミュレータ機能を有効にしてください。

有効にすると、テンキー、Rトリガーキーは、マウスカーソルの操作に使用します。(数値入力、バーコードの読み取りには使用できません。)

■ マウスエミュレータ機能を有効にする

- 画面にマウスカーソルがない状態で、“Fn” キー→ “4” キーと続けて押します。

画面にマウスカーソルがあらわれ、マウスエミュレータ機能が有効になります。

※無効にするときは、再度 “Fn” キー→ “4” キーと押してください。

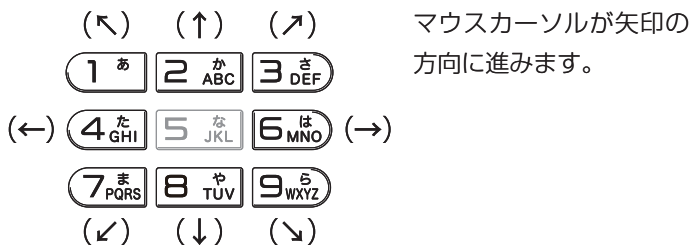
※ “Fn” キー→ “4” キーと押すたびに、有効 / 無効が切り替わります。

■ マウスカーソルの操作

マウスエミュレータ機能が有効な状態で行ってください。

マウスカーソルの移動

- 移動したい方向の数値キー (“5” キーを除く) を押します。



※押し続けると連続で進みます。

左クリック

ファイル選択、メニュー選択などを行うことができます。

- マウスカーソルを左クリックしたい項目に位置づけ、“5” キーを押します。

右クリック(メニュー表示)

- マウスカーソルを右クリックしたい項目に位置づけ、R トリガーキーを押します。

左ダブルクリック

アイコン上でこの操作を行うと、アプリケーションを起動したりファイルを開いたりすることができます。

- マウスカーソルを左ダブルクリックしたい項目に位置づけ、“5” キーを 2 回続けて押します。

※ダブルクリックのタイミングは WindowsCE のダブルタップ設定に従います。コントロールパネルの「マウス」アイコンから設定変更することができます。

ドラッグ

画面上のアプリケーションアイコン、またファイルエクスプローラのフォルダやファイルをドラッグすることができます。

- マウスカーソルをドラッグしたい項目に位置づけ、“5” キーを押します。“5” キーと同時に数値キーをどれか押してマウスカーソルを移動させると、項目はドラッグされます。“5” キーから指を離すと、その位置でドロップされます。

画面の明るさを調節する

暗いところで本機を操作する場合、画面を見やすくするために、画面の明るさを調整することができます。

- “Fn”キーを押して画面右下に“F”が表示されたことを確認してから、“5”または“6”キーを押します。“5”キーを押すと暗く、“6”キーを押すと明るくなります。

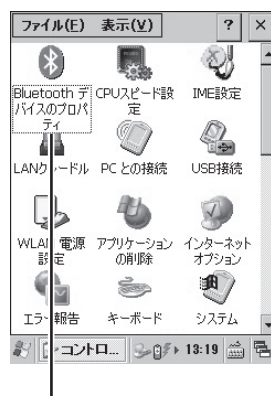
※ 続けて調整するときは、あらためて“Fn”キーを押してから“5”または“6”キーを押してください。

画面の明るさを自動減光する

充電電池パックを長持ちさせるために、本機の操作を行わないで一定時間が経過すると、画面の明るさを自動的に減光します。

以下の方法で減光するまでの時間を設定してください。

- 1 “前項目”キー／“次項目”キーで[スタート]アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押します。「設定」→[コントロールパネル]の順に“決定”キーを押すと、コントロールパネルが表示されます。



フォーカス

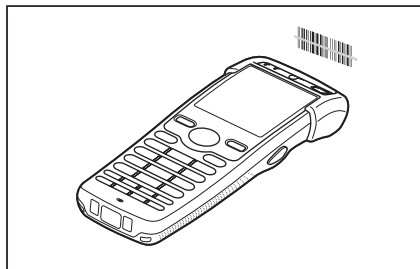
- 2 「明るさ」アイコンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押します。“前項目”キー／“次項目”キーでタブにフォーカスを移動し、“<”キー／“>”キーで[バックライト]タブを選択し、表示された項目を設定します。

※ マウスエミュレータ機能を使って調節することもできます。



レーザーสキャナの取り扱い (DT-X100-10J)

- 1 電源をONにして、レーザーสキャナをバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 レーザーが発光し、バーコードが読み取れます。
読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



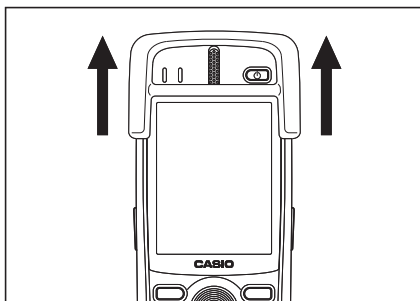
使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は 40mm ～ 550mm の距離からバーコードを読み取ることができます。なお、バーコードの種類によって読み取り可能な距離が異なります。

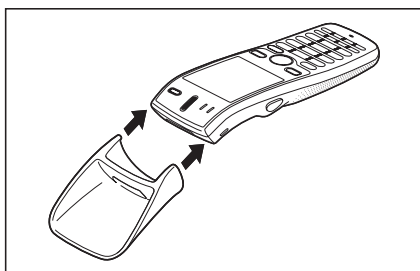
■ 接触読みガイドの取り付けかた (DT-X100-10J)

付属の接触読みガイドを取り付けることで、スキャンの際、簡単に位置あわせをすることができます。

- 1 矢印の方向にプロテクタを引き抜いて外します。

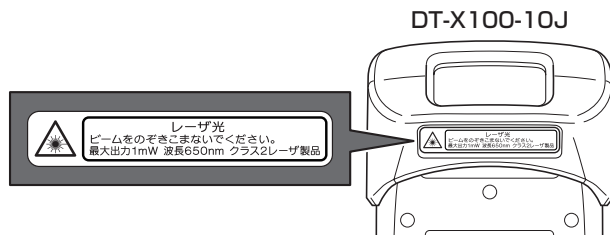


- 2 図のように取り付けてください。



- 3 取り付け後は確実にセットされていることを確認してください。ガイドの先端をバーコードに着けてスキャンします。

警告ラベルについて

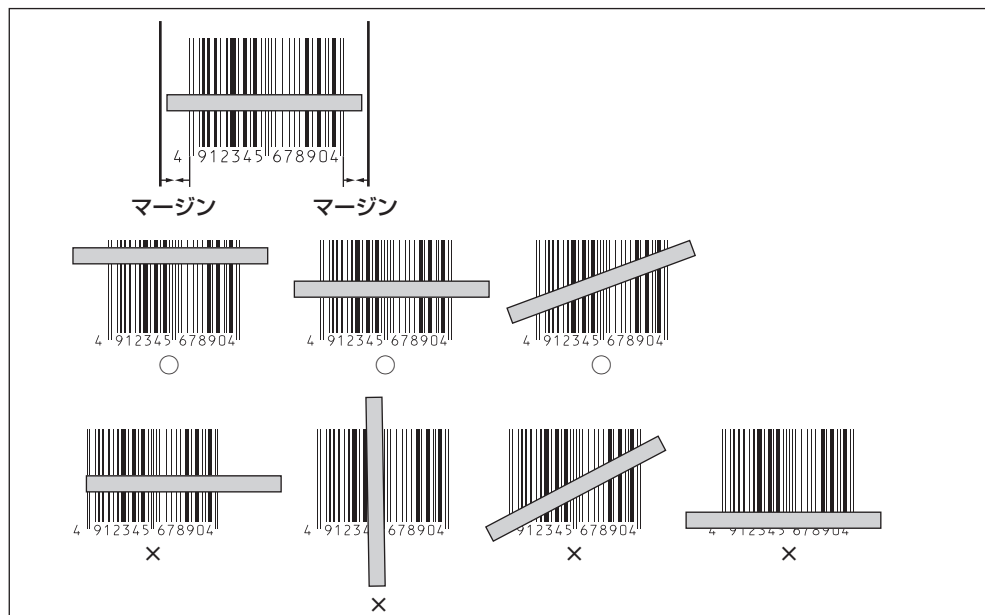


- ・このラベルは JIS C 6802 に準じた、クラス 2 レーザー製品の警告、注意ラベルです。
- ・クラス 2 レーザー光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- ・本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- ・レーザー光は最大出力 1mW 未満、波長 650nm です。

バーコードをスキャンする位置

小さいバーコードは、レーザースキャナを近づけてお使いください。

大きいバーコードは、光にバーが入るように離してお使いください。



警告

■レーザー光をのぞき込まないでください。



- ・本機は、レーザー光でスキャンします。

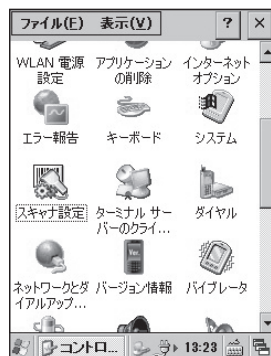
レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

■ レーザー発光幅調整法について

本機はレーザーの発光幅を切り替えることができます。レーザーの発光幅にずれがある場合は、次の方法で調整してください。

※マウスエミュレータ機能を使って調整することもできます。

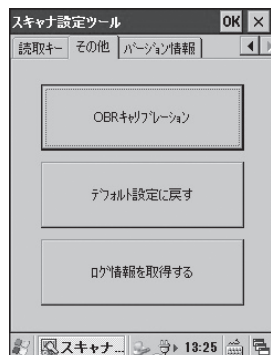
- 1 “前項目” キー／“次項目” キーで[スタート]アイコンにフォーカスを移動し、“決定” キーを押します。「設定」→[コントロールパネル]の順に“決定” キーを押すと、コントロールパネルが表示されます。



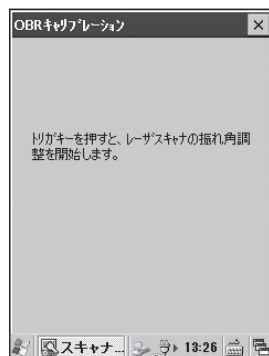
- 2 [スキャナ設定]アイコンにフォーカスを移動し、“決定” キーを押すと、右の画面が表示されます。



- 3 “前項目” キー／“次項目” キーでタブにフォーカスを移動し、“<” キー／“>” キーで[その他]タブを選択します。



- 4 “前項目”キー／“次項目”キーで[OBRキャリブレーション]ボタンにフォーカスを移動し、“決定”キーを押すと、右の画面が表示されます。

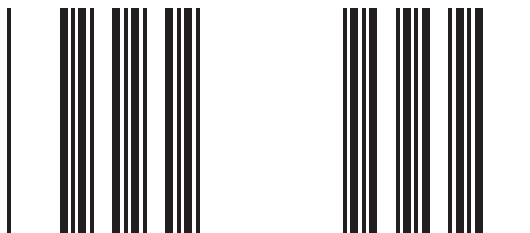


- 5 トリガーキーを押してレーザーを発光させ、発光幅調整用バーコードに光を合わせます。

- ・レーザー光を両サイドにある細いバーに合わせてください。
- ・調整が完了すると右の画面が表示されます。
- ・「設定が失敗しました」と表示されたときは、設定をやり直してください。

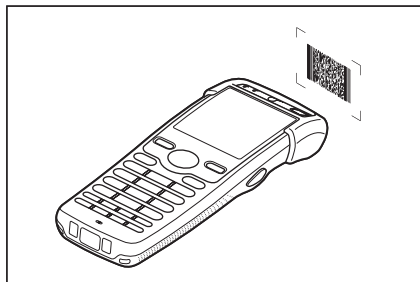


■発光幅調整用バーコード



CMOS イメージャの取り扱い (DT-X100-20J)

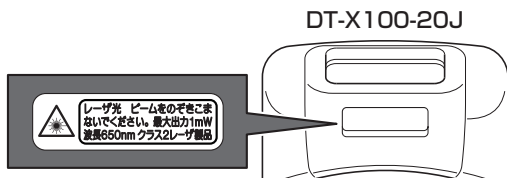
- 1 電源をONにして、読み取り口をバーコードに近づけ、トリガーキーを押してください。
- 2 LEDが発光し、バーコードが読み取れます。読み取りが正常に完了するとインジケータ2が緑色に点灯し、ブザーが鳴ります。



使用上のご注意

- 読み取りができないときは、角度を変えたり、距離を変えて再度読み取ってください。
- 本機は 40mm ～ 400mm の距離からバーコードを読み取ることができます (1D : 約 45mm ～ 400mm、Stacked 2D : 約 40mm ～ 230mm、Matrix 2D : 約 48mm ～ 300mm)。

警告ラベルについて



- このラベルは JIS C 6802 に準じた、クラス 2 レーザー 製品の警告、注意ラベルです。
- クラス 2 レーザー 光は瞬間露光ですが、ビーム光を直接のぞき込むことは、絶対に避けてください。
- 本書に規定された内容以外の手順による取り扱いは危険ですので絶対に行わないでください。
- レーザー 光は最大出力 1mW 未満、波長 650nm です。



■レーザー光をのぞき込まないでください。

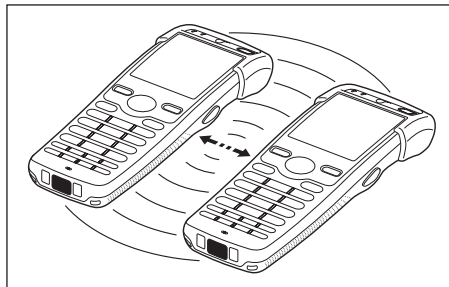


- レーザー光を直接見たり、目にあてたりすることは絶対に避けてください。

Bluetooth® 通信

Bluetooth® 通信は本体間の通信などでお使いになれます。

相手の機器と3m以内の距離(障害物のない状態)で通信することができます。



使用上のご注意

良好な通信を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth® 機器とは、見通し距離約3m以内で通信してください。周囲の環境(障害物)によっては通信可能距離は短くなります。
- 他の機器(電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど)から2m以上離れて通信してください(特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください)。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に通信できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります(UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります)。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、通信場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。
- ワイヤレスLANとの電波干渉について

Bluetooth® 通信とワイヤレスLANは同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の周辺で本機を使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ワイヤレスLANを搭載した機器からは、10m以上離れて使用してください。
- 10m以内で使用する場合は、本機またはワイヤレスLANを搭載した機器の一方の電源を切ってください。
- Bluetooth® Ver2.1 を搭載することにより、本機の無線LANとBluetooth® 通信を同時使用することが可能となりますが、周囲の電波環境により通信できない場合があります。

リセットのしかた

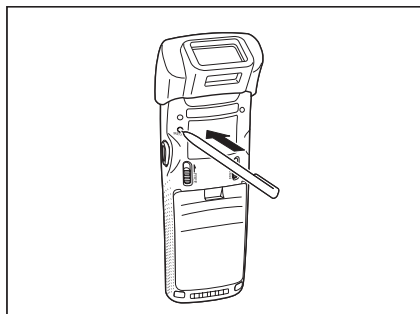
「リセット」はパソコンでの「再起動」に相当します。リセットを実行すると、入力中や編集中などで、まだ保存していなかったデータや各種設定は消去されます。

誤操作や何らかの異常により、本機が正常に動作しなくなった場合は、リセット操作を行う必要があります。

本機背面のリセットスイッチをシャープペンシル（芯を出さない状態）など先の細い棒のようなもので押します。

リセット処理が開始されます。

※リセットボタンを押すものに、つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。



フルリセット（ハンディターミナルの初期化）について

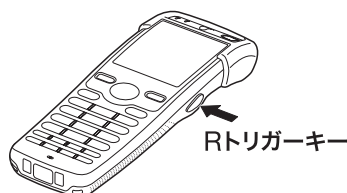
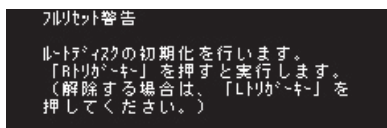
フルリセットを実行すると、Flashdisk フォルダに保存されているデータを除きすべてのデータが消去され、各種の設定がすべて初期状態に戻ります。

フルリセットは、次のような場合に実行します。

- ・インストールしたプログラムや設定を消去して、本機を初期状態に戻したい場合
- ・パスワードを忘れてしまい、本機を使うことができなくなった場合
- ・メモリ異常のため、本機が正常に動作しなくなった場合
- ・「メモリ内容の一部に不正な状態を検出しました・・・」というメッセージが表示された場合

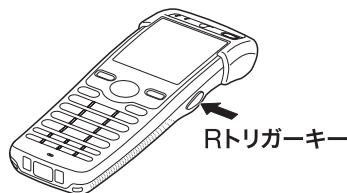
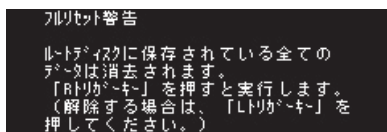
フルリセットの実行のしかた

- 1** 電源キーとCLRキーを押しながらリセットボタンをシャープペンシルなど先の細い棒のようなもので約1秒間押し、リセットボタンを先に離します。以下のメッセージが表示されます。



- ・実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

- 2** Rトリガーキーを押すと、以下のメッセージが表示されます。



- ・実行を解除する場合は、Lトリガーキーを押します。

- 3** 再度Rトリガーキーを押します。
- ・フルリセットが実行され、起動画面が表示されます。

使用上のご注意

- ・フルリセットを行うと、Flashdisk フォルダに保存しているデータを除いてすべてのデータが初期化されてしまいます。可能な場合は、本機のデータをパソコンもしくはFlashdisk フォルダなどへバックアップを行っておいてください。

DT-X100 の仕様

型式 : DT-X100-10J、DT-X100-20J
CPU : Marvell® PXA270 416MHz
メモリ : RAM 256MB、フラッシュROM 512MB (ユーザー領域: 約 220MB)
OS : Microsoft® Windows® Embedded Compact 7
表示 : 2.4inch、320 × 240 ドット、カラー半透過型 TFT 液晶

レーザースキャナ部 (DT-X100-10J) :

読み取りコード :

UPC-A/UPC-E/EAN8(JAN8)/EAN13(JAN13)/Codabar(NW-7)/
Code39/Interleaved2of5(ITF)/MSI/Industrial2of5/Code93/
Code128(EAN128)/IATA/GS1 DataBarOmnidirectional(R
SS-14)/GS1 DataBarLimited(RSS Limited)/GS1 DataBar
Expanded(RSS Expanded)/GS1 DataBar Stacked(RSS-14
Stacked)/GS1 DataBar Expanded Stacked(RSS Expanded
Stacked)/GS1 DataBar Truncated/GS1 DataBar Stacked
Omnidirectional(RSS-14 Stacked Omnidirectional)

読み取り距離 : 約 40mm ~ 550mm 以内

CMOS イメージャ部 (DT-X100-20J) :

読み取りコード :

1D : UPC-A/UPC-E/EAN8(JAN8)/EAN13(JAN13)/
Codabar(NW-7)/Code39/Interleaved2of5(ITF)/MSI/Code93/
Code128(GS1-128(EAN128))/Code11/GS1 DataBarOmnid
irectional(RSS-14)/GS1 DataBarLimited(RSS Limited)/GS1
DataBar Expanded(RSS Expanded)/Code32/GS1 DataBar
Truncated(RSS-14 Truncated)/ISBT

2D Stacked : PDF417/Micro PDF/Composite/Codablock
F/GS1 DataBar Stacked Omnidirectional (RSS-14 Stacked
Omnidirectional) /GS1 DataBar Expanded Stacked (RSS
Expanded Stacked) /GS1 DataBar Stacked (RSS-14 Stacked) /
GS1DataBar Truncated (RSS-14 Truncated)

2D Matrix : Aztec,DataMatrix,Maxicode,QR Code,Micro QR

読み取り距離 : 1D: 45 ~ 400mm

2D Stacked: 40 ~ 230mm

2D Matrix: 48 ~ 300mm

Bluetooth® 通信 :

通信方式 : Bluetooth® Ver.2.1+EDR (Class2)

通信距離 : 約 3m (電波の状態や環境により変化します)

出力 : 最大 4dBm (PowerClass2)

WLAN:

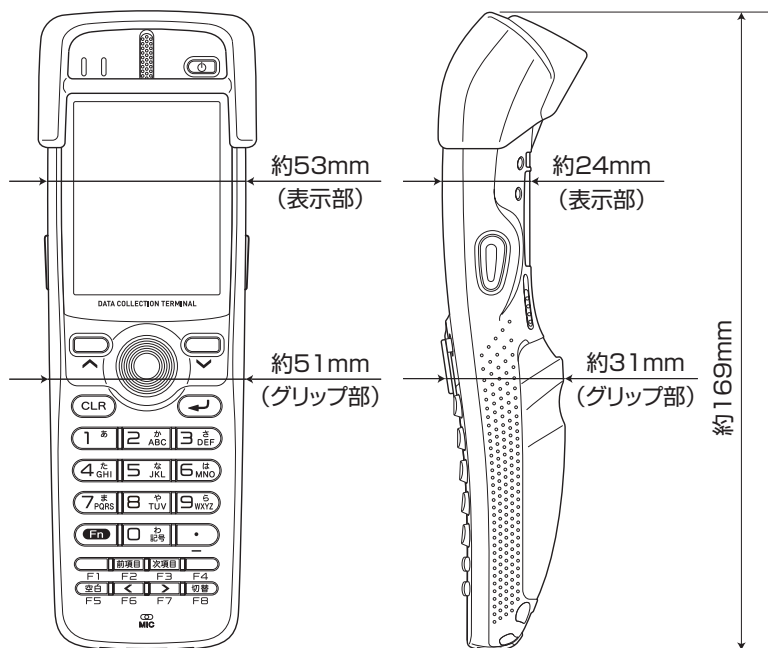
標準規格 : IEEE 802.11a/b/g/n

拡散変調方式 : 802.11a/g/n: OFDM(Orthogonal Frequency Divisi
on Multiplexing) 直交周波数分割多重方式
802.11b: DSSS(Direct Sequence Spread
Spectrum) 直接拡散方式

	無線周波数	：＜中心周波数＞ IEEE802.11a/n W52:36/40/44/48ch(5.18～5.24GHz) W53:52/56/60/64ch(5.26～5.32GHz) W56:100/104/108/112/116/120/124/128/ 132/136/140ch(5.50～5.70GHz) IEEE802.11b 1～14ch(2.412～2.484Ghz) ※ IEEE802.11g/n 1～13ch(2.412～2.472Ghz) ＜周波数範囲＞ IEEE802.11a/n 5.15～5.35GHz(W52,W53) 5.47～5.725GHz(W56) IEEE802.11b 2.400～2.497GHz IEEE802.11g/n 2.400～2.4835GHz	
	伝送速度	：802.11a/g:最大54Mbps 802.11b:最大11Mbps 802.11n:最大65Mbps	
	伝送距離	：802.11b/g/n:屋内約50m、屋外約150m (nは2.4GHz帯) 802.11a/n:屋内約50m、屋外約150m(nは5GHz帯) (使用環境や伝送速度により変化します)	
電源	：メイン電源用	：標準充電電池パック	HA-F20BAT 大容量充電電池パック HA-F21LBAT バックアップ電源用:リチウム充電電池(内蔵)
消費電力	：DC1.6A	：DT-X100-10J	
	：DC1.7A	：DT-X100-20J	
電池寿命	：メイン電池	：DT-X100-10J	
		約15時間 (HA-F20BAT) *	
		約26時間 (HA-F21LBAT) *	
		約10時間 (HA-F20BAT) **	
		約17時間 (HA-F21LBAT) **	
		DT-X100-20J	
		約13.5時間 (HA-F20BAT) *	
		約23時間 (HA-F21LBAT) *	
		約9時間 (HA-F20BAT) **	
		約15時間 (HA-F21LBAT) **	
		* CPUスピード設定が自動パワーセーブモードでバックライトOFF、待機：キー入力：スキャンが20：1：1の場合	
		** CPUスピード設定が自動パワーセーブモードでバックライトOFF、待機：キー入力：スキャン：無線が20：1：1の場合	

- 動作温度** : - 20 ~ 50℃ (充電は 0 ~ 40℃)
動作湿度 : 10 ~ 80%RH (結露なきこと)
防水防塵性能 : JIS 防沫形準拠、IEC529 IP54 準拠
大きさ : 次のページの「外形寸法図」をご覧ください。
質量 : 約 195g (大容量充電電池パック、プロテクタ含む)
約 175g (標準充電電池パック、プロテクタ含む)
バイブレート機能 : ソフトウェアの設定により使用可

<外形寸法図>



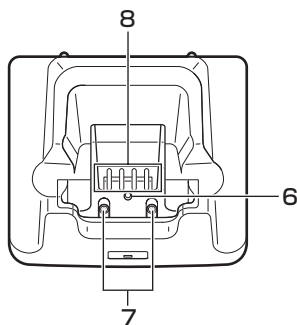
USBクレードル(HA-F6010/HA-F6010A)の取り扱い

別売の USB クレードル (HA-F6010/HA-F6010A) は、DT-X100 とパソコンなどとの間で USB インターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送（ダウンロード、アップロード）ができます。また、DT-X100 を接続して充電電池パックを充電することができます。

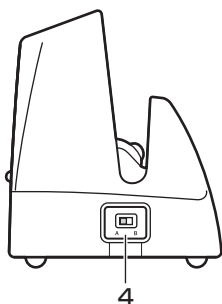
各部の名称とはたらき

HA-F6010 と HA-F6010A に共通の内容は、HA-F6010 のイラストで説明しています。

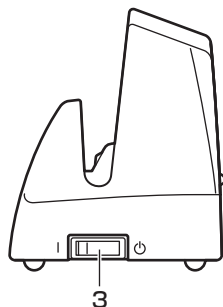
上面



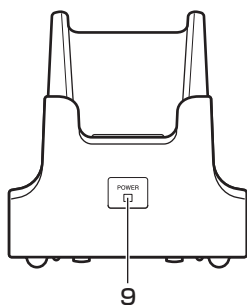
左側面



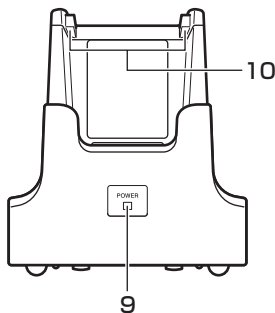
右側面 (HA-F6010A)



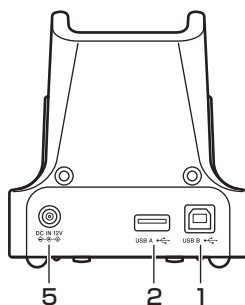
正面 (HA-F6010)



正面 (HA-F6010A)



背面

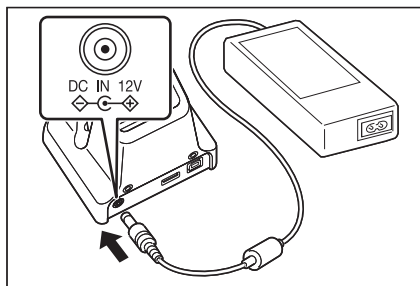


1	USB クライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	USB ホスト用ポート	対応する USB 周辺機器との接続に使用します。
3	電源スイッチ	電源を ON/OFF するスイッチです。
4	切替スイッチ	USB ホストと USB クライアントの切替えを行うスイッチです。
5	AC アダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
6	本体装着検知用スイッチ	DT-X100 が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
7	給電端子	DT-X100 へ電源を供給する端子です。
8	データ通信端子	USB 通信を行う端子です。
9	電源表示用 LED	電源の状態、DT-X100 の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X100 は装着されていません。 緑色点灯 : 電源 ON、DT-X100 が正常に装着されています。
10	DT-X100 固定用フック	DT-X100 を USB クレードルに固定するときに使用します。

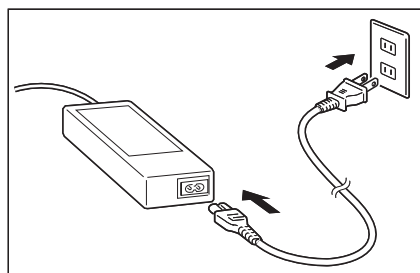
USB クレードルの電源の取り付けかたと接続

USB クレードルの電源は、別売の AC アダプタ(AD-S42120C)を使用してください。
DT-X100 とデータ通信する前に必ず USB クレードルと AC アダプタを接続してください。
DT-X100 への電源は USB クレードルから供給されます。

- 1 USB クレードルの背面にある AC アダプタジャックへ AC アダプタを差し込みます。

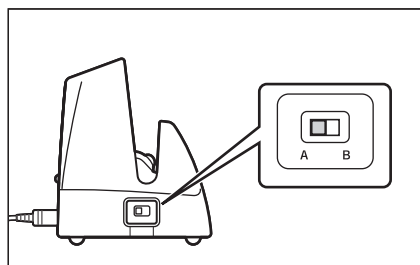


- 2 電源コードを AC アダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



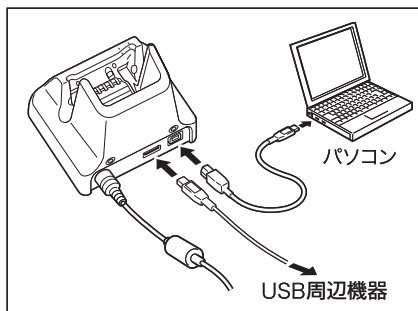
- 3 USB クレードルの左側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

USB クライアントを使用する場合は B 側に、USB ホストを使用する場合は A 側にセットしてください。



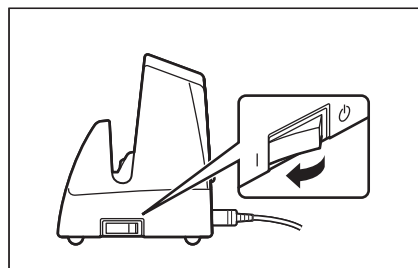
- 4** USBケーブル(DT-380USB-A)をUSBクレードル背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



5 (HA-F60IOAの場合のみ)

USBクレードルの右側面にある電源スイッチをONにします。USBクレードル前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



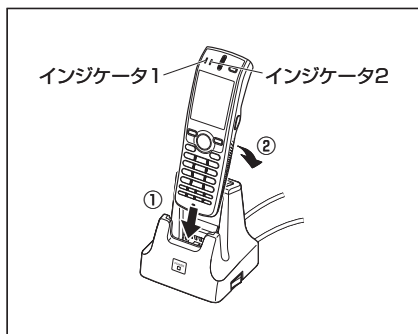
6 (HA-F60IOの場合)

DT-X100底面の端子とUSBクレードルの給電端子を合わせるようにして装着します。

DT-X100が正しく装着されるとUSBクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

(HA-F60IOAの場合)

DT-X100底面の端子とUSBクレードルの給電端子を合わせるようにしてから押し込み①、USBクレードルの固定用フックにDT-X100の固定部(くぼみ)を合わせて装着します②。



DT-X100が正しく装着されると充電が開始され、USBクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

DT-X100をUSBクレードルから外すときは、DT-X100を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。

DT-X100 のインジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点滅：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中（充電可能温度になると充電開始）

緑色点灯：充電完了

DT-X100 のインジケータ 2 の表示

青色点滅：Bluetooth® 使用時

オレンジ色点滅：WLAN 使用時

マゼンタ色点滅：本体とパソコンが USB 接続状態のとき

緑色点灯：バーコードが正常に読み取れたとき

使用上のご注意

- USB インターフェースのスイッチを切り替えるときは、必ず DT-X100 を USB クレードルから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のため AC アダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- USB クレードルの給電端子は絶対にショートさせないでください。ショートさせると故障の原因となります。
- クレードルに衝撃や強い振動がかかると、本体が外れることがありますので、ご注意ください。また、USB クライアント、および USB ホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-X100 を装着する際は、しっかりと装着し、USB クレードル前面の電源表示用 LED が緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- USB クライアントおよび USB ホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- DT-X100 裏面の充電電池パックカバーに固定部（くぼみ）がないものは、HA-F60IOA をご使用になれません。
- (HA-F60IOA の場合)
DT-X100 が USB クレードルに装着されている状態のまま DT-X100 を持ち上げないでください。USB クレードルが不意に落下してけがや故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチを OFF にしてください。
- クレードルは平らな場所に設置し、DT-X100 の着脱は、静かに確実に行ってください。

USBクレードル(HA-F60IO/HA-F60IOA)の仕様

1. USB仕様

規格 : USB Ver1.1 準拠
伝送速度 : 12Mbps (MAX)

2. 充電仕様

充電方式 : 定電流定電圧方式
充電時間 : 約3時間(標準充電電池パック)
: 約5.5時間(大容量充電電池パック)

3. 電源部

使用電源 : AD-S42120C
消費電流 : DC12V 1.3A
本体(DT-X100)出力 : DC5V 1.6A (MAX)
USBホスト出力 : DC5V 0.5A (MAX)

4. ACアダプタ仕様

規格名 : AD-S42120C
入力 : AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力 : DC12V 3.5A

5. 外形寸法・質量

外形寸法 : HA-F60IO:
約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm
HA-F60IOA:
約93(幅)×83(奥行)×104(高さ)mm
質量 : HA-F60IO:
約270g
HA-F60IOA:
約250g

6. 動作環境

動作温度 : 0～40℃
動作湿度 : 30～80%RH(結露なきこと)

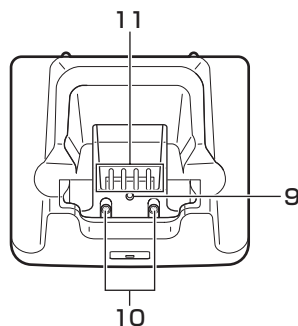
LANクレードル(HA-F62IO/HA-F62IOA)の取り扱い

別売の LAN クレードル (HA-F62IO/HA-F62IOA) は、DT-X100 とパソコンなどとの間で USB インターフェースや LAN インターフェースを使いシステムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップロード)ができます。また、DT-X100 を接続して充電電池パックを充電することができます。

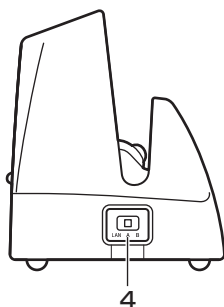
各部の名称とはたらき

HA-F62IO と HA-F62IOA に共通の内容は、HA-F62IO のイラストで説明しています。

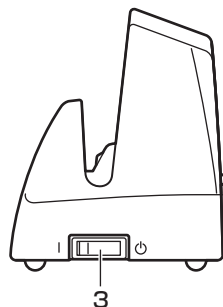
上面



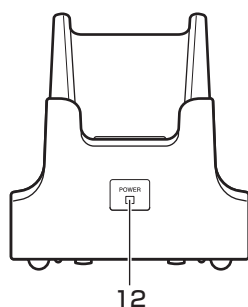
左側面



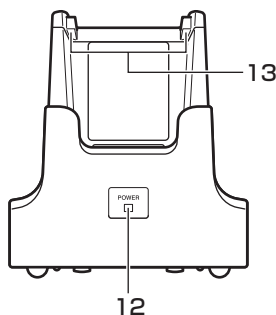
右側面 (HA-F62IOA)



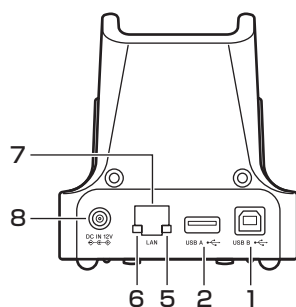
正面 (HA-F62IO)



正面 (HA-F62IOA)



背面

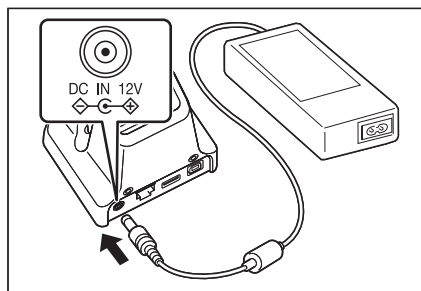


1	USB クライアント用ポート	USBケーブル(DT-380USB-A)を使ってパソコンへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード・アップロード)を行います。PCに接続する前に、PC側に専用ドライバをインストールする必要があります。
2	USB ホスト用ポート	対応する USB 周辺機器との接続に使用します。
3	電源スイッチ	電源を ON/OFF するスイッチです。
4	切替スイッチ	USB ホスト、USB クライアント、および LAN の切替えを行うスイッチです。
5	LAN 接続状態表示用 LED	LANの接続状態を表示します。 消灯 : LANケーブルが正しく接続されていません。 緑色点灯 : LANケーブルが正しく接続されています。
6	LAN 通信状態表示用 LED	LAN の稼働状態を表示します。 消灯 : 通信していません。 緑色点滅 : 通信中です。
7	LAN 用ポート	LANケーブルを使ってパソコンやHUBへ接続し、システムデータ、ファイルデータの転送(ダウンロード、アップデート)を行います。DT-X100に専用ドライバをインストールする必要があります。
8	AC アダプタジャック	AC アダプタ (別売) を接続して電源を供給します。
9	本体装着検知用スイッチ	DT-X100 が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
10	給電端子	DT-X100 へ電源を供給する端子です。
11	データ通信端子	通信を行う端子です。
12	電源表示用 LED	電源の状態、DT-X100 の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X100 は装着されていません。あるいは AC アダプタが接続されていません。 緑色点灯 : 電源 ON、DT-X100 が正常に装着されています。
13	DT-X100 固定用フック	DT-X100 を LAN クレドールに固定するときに使用します。

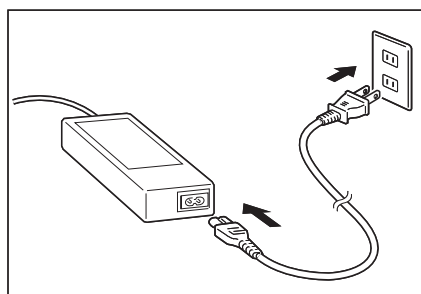
LAN クレードルの電源の取り付けかたと接続

LAN クレードルの電源は、別売のACアダプタ(AD-S42120C)を使用してください。
DT-X100とデータ通信する前に必ずLAN クレードルとACアダプタを接続してください。
DT-X100 への電源は LAN クレードルから供給されます。

- 1 LAN クレードルの背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

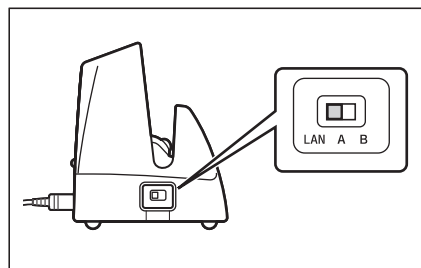


- 2 電源コードをACアダプタに接続したあと、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 LAN クレードルの左側面にある切り替えスイッチを使用するポートに合わせてセットします。

LAN 用ポートを使用する場合は LAN 側に、
USB クライアントを使用する場合は B 側に、
USB ホストを使用する場合は A 側に
セットしてください。

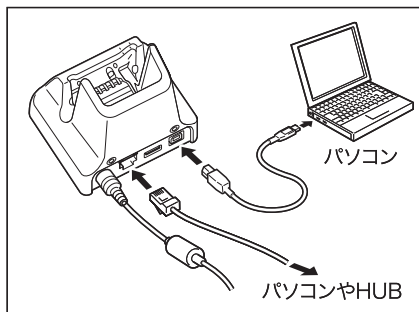


4 使用する前にポートに付いているキャップを取り外してください。

LANを使用するときは、LAN用ポートにLANケーブルを接続し、パソコンやHUBへ接続します。

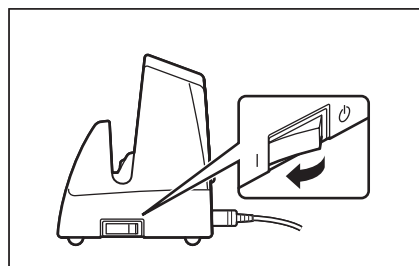
USBケーブル(DT-380USB-A)をLANクレードル背面にあるUSBクライアントへ接続しパソコンに接続します。

USBホストは他のUSB周辺機器との接続に使用します。



5 (HA-F6210Aの場合のみ)

LANクレードルの右側面にある電源スイッチをONにします。LANクレードル前面の電源表示用LEDが赤色に点灯します。



6 (HA-F6210の場合)

DT-X100底面の端子とLANクレードルの給電端子を合わせるようにして装着します。

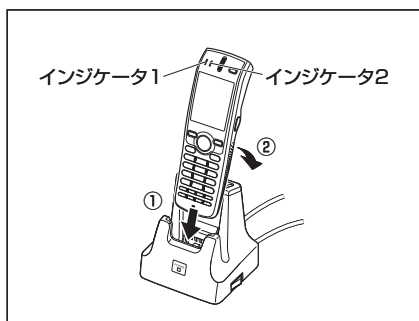
DT-X100が正しく装着されるとLANクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

(HA-F6210Aの場合)

DT-X100底面の端子とLANクレードルの給電端子を合わせるようにしてから押し込み(①)、LANクレードルの固定用フックにDT-X100の固定部(くぼみ)を合わせて装着します(②)。

DT-X100が正しく装着されると充電が開始され、LANクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯します。

DT-X100をLANクレードルから外すときは、DT-X100を前方に傾けて固定用フックから固定部(くぼみ)を外してから引き抜いてください。



DT-X100 のインジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点滅：充電パックの異常、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯：充電完了

DT-X100 のインジケータ 2 の表示

青色点滅：Bluetooth[®] 使用時

オレンジ色点滅：WLAN使用時

マゼンタ色点滅：本体とパソコンが USB 接続状態のとき

緑色点灯：バーコードが正常に読み取れたとき

使用上のご注意

- LAN、USBクライアント、およびUSBホストのスイッチを切り替えるときは、必ずDT-X100をLANクレードルから外してください。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- LANクレードルの給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- クレードルに衝撃や強い振動がかかると、本体が外れることがありますので、ご注意ください。また、LAN、USBクライアント、およびUSBホストでの通信中に振動や衝撃を与えないでください。通信が切れる原因となります。
- DT-X100を装着する際は、しっかりと装着し、LANクレードル前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。
正しく装着されないと、充電や通信が行えません。
- クレードルは平らな場所に設置し、DT-X100の着脱は、静かに確実に行ってください。
- LAN、USBクライアント、およびUSBホストを同時に使用することはできません。
- 使用しないポートには、必ずキャップを取り付けてください。キャップを外したまま使用すると故障の原因となります。
- DT-X100裏面の充電電池バックカバーに固定部（くぼみ）がないものは、HA-F62IOAをご使用になれません。
- (HA-F62IOAの場合)
DT-X100がLANクレードルに装着されている状態のままDT-X100を持ち上げないでください。LANクレードルが不意に落下してけがや故障の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。

LANクレードル(HA-F62IO/HA-F62IOA)の仕様

1. LAN仕様

通信方式	: IEEE 802.3 準拠
メディアタイプ	: 10base-T/100base-TX 自動切換

2. USB仕様

規格	: USB Ver1.1 準拠
伝送速度	: 12Mbps (MAX)

3. 充電仕様

充電方式	: 定電流定電圧方式
充電時間	: 約3時間(標準充電電池パック) : 約5.5時間(大容量充電電池パック)

4. 電源部

使用電源	: AD-S42120C
消費電流	: DC12V 1.5A
本体(DT-X100)出力	: DC5V 1.6A (MAX)
USBホスト出力	: DC5V 0.5A (MAX)

5. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120C
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力	: DC12V 3.5A

6. 外形寸法・質量

外形寸法	: HA-F62IO: 約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm HA-F62IOA: 約93(幅)×83(奥行)×104(高さ)mm
質量	: HA-F62IO: 約280g HA-F62IOA: 約260g

7. 動作環境

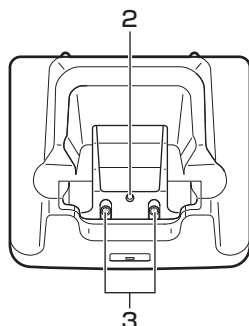
動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 30～80%RH(結露なきこと)

■置くだけ充電器(HA-F30CHG)の取り扱い

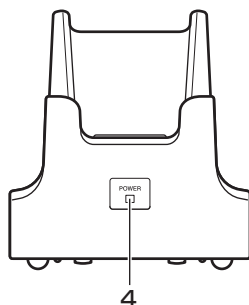
別売の置くだけ充電器 (HA-F30CHG) は、DT-X100 を接続して、充電電池パックを充電することができます。

各部の名称とはたらき

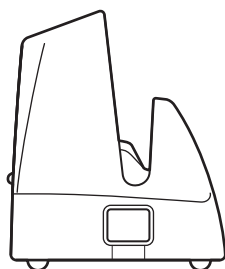
上面



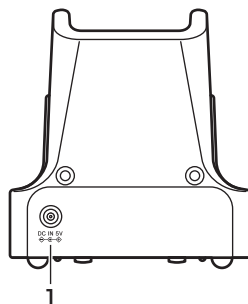
正面



左側面



背面

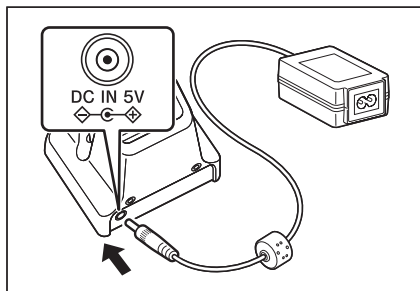


1	AC アダプタジャック	AC アダプタ (別売) を接続して電源を供給します。
2	本体装着検知用スイッチ	DT-X100 が正しくセットされていることを検知するスイッチです。
3	給電端子	DT-X100 へ電源を供給する端子です。
4	電源表示用 LED	電源の状態、DT-X100 の装着状態を表示します。 消灯 : DT-X100 は装着されていません。 緑色点灯 : 電源 ON、DT-X100 が正常に装着されています。

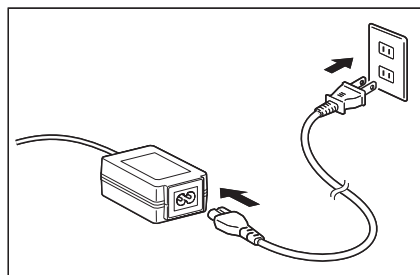
置くだけ充電器の電源の取り付け方と接続

置くだけ充電器の電源は、別売のACアダプタ(AD-S15050B)を使用してください。

- 1 置くだけ充電器の背面にあるACアダプタジャックへACアダプタを差し込みます。

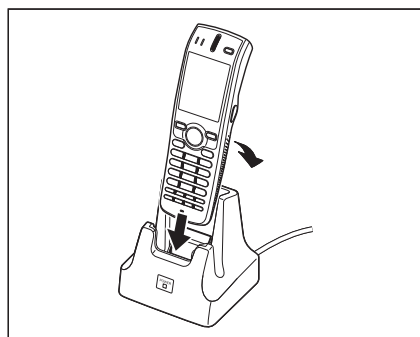


- 2 電源コードをACアダプタに接続した後、電源コードのプラグをコンセントに接続します。



- 3 DT-X100底面の端子と置くだけ充電器の給電端子を合わせるようにしてから置くだけ充電器の固定用フックにDT-X100の固定部を合わせて装着します。

DT-X100 が正しく装着されると置くだけ充電器前面の電源表示用LED が緑色に点灯します。



DT-X100 のインジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯：充電中

赤色点滅：充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中(充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯：充電完了

使用上のご注意

- 置くだけ充電器の給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- DT-X100を装着する際は、置くだけ充電器にしっかりと装着し、置くだけ充電器前面の電源表示用LEDが緑色に点灯していることを確認してください。正しく装着されないと、充電が行えません。
- 置くだけ充電器は平らな場所に設置し、DT-X100の着脱は、静かに確実に行ってください。

置くだけ充電器(HA-F30CHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電圧定電流方式
充電時間	: 約3時間(標準充電電池パック) 約5.5時間(大容量充電電池パック)

2. 電源部

使用電源	: AD-S15050B
消費電流	: DC5V 1.6A
本体(DT-X100)出力	: DC5V 1.6A (MAX)

3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S15050B
入力	: AC100-240V 50/60Hz 0.4A
出力	: DC5V 3.0A

4. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約93(幅)×83(奥行)×101(高さ)mm
質量	: 約230g

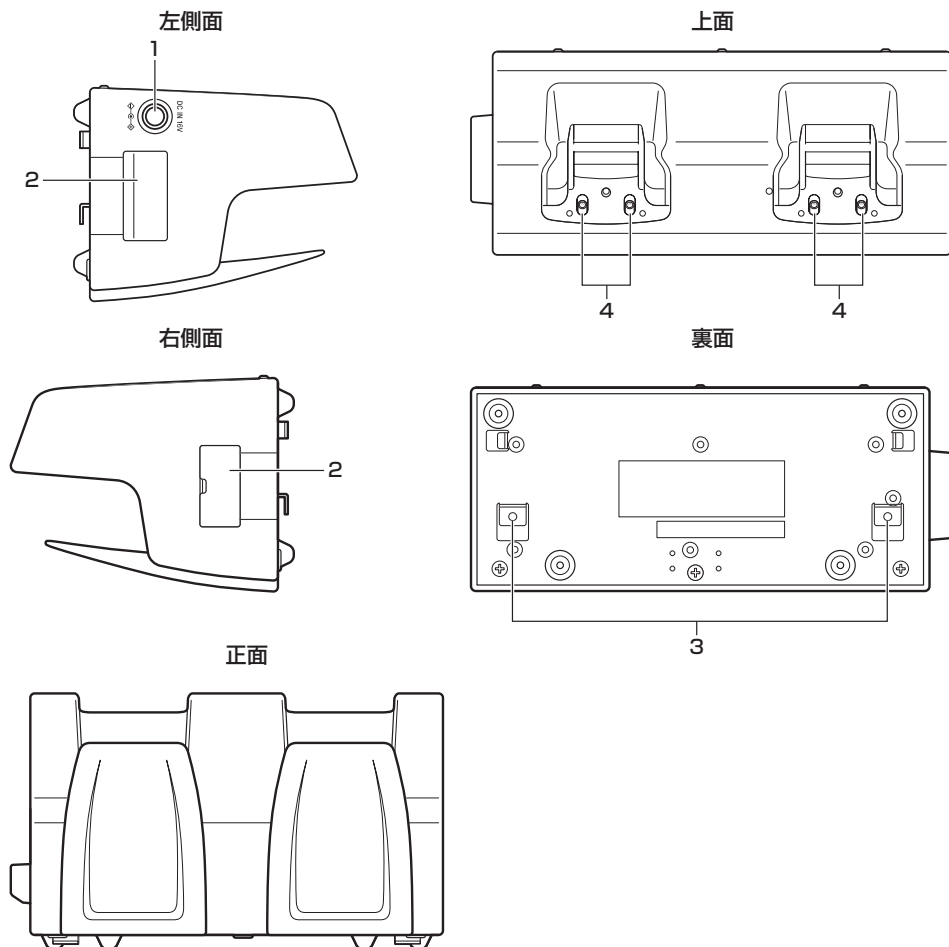
5. 動作環境

動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 30～80%RH(結露なきこと)

置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の取り扱い

別売の置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)は、電池をDT-X100に装着した状態で2台同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

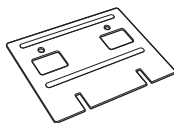


1	AC アダプタジャック	ACアダプタ(別売)を接続して電源を供給します。
2	置くだけ集合充電器 接続用コネクタ	置くだけ集合充電器どうしの接続に使います。
3	接続用アタッチメン ト取り付け部	置くだけ集合充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
4	給電端子	DT-X100へ電源を供給する端子です。

付属品

置くだけ集合充電器を2台以上接続する場合に使用します。

- ・接続用アタッチメント
(裏面用)



- ・接続用アタッチメント
(側面用)



- ・接続用ネジ
(裏面用、側面用)
各2本

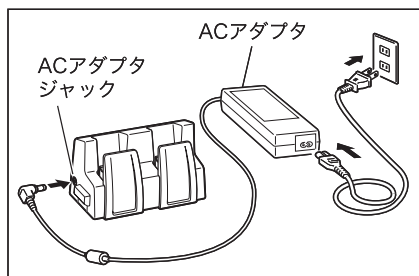


充電のしかた

置くだけ集合充電器の電源は、別売の AC アダプタ (AD-S60160B) を使用してください。

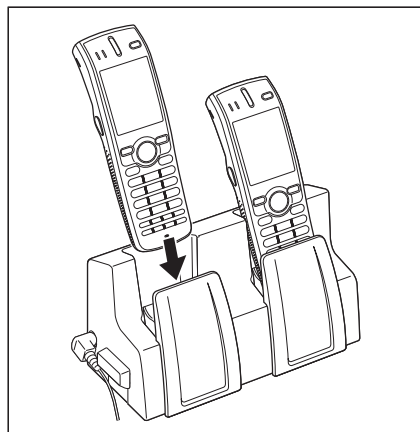
1 置くだけ集合充電器のACアダプタジャックにACアダプタのコネクタを差し込みます。

2 専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。



3 DT-X100の底部にある端子と置くだけ集合充電器の端子を合わせるようにしてセットします。

- ・ 充電状態は DT-X100 のインジケータ 1 の表示で確認してください。



DT-X100 インジケータ 1 の表示

オレンジ色点灯 : 充電中

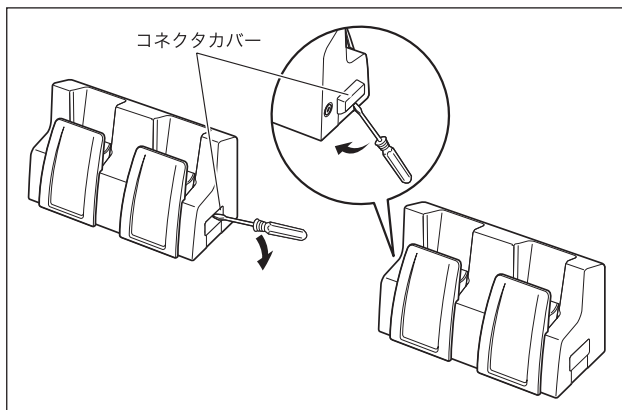
赤色点滅 : 充電電池パックの異常、充電可能温度でないため待機中 (充電可能温度になると充電開始)

緑色点灯 : 充電完了

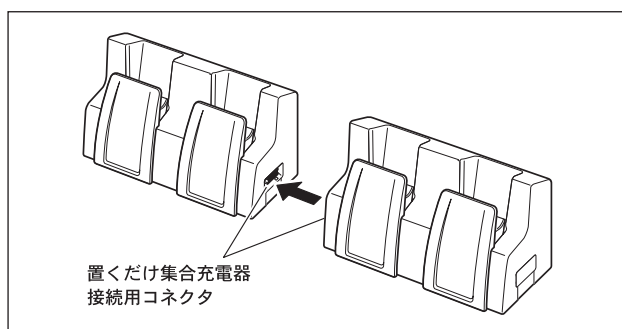
2 台以上の接続

置くだけ集合充電器を 3 台まで接続して、1 つの AC アダプタで使うことができます。

- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



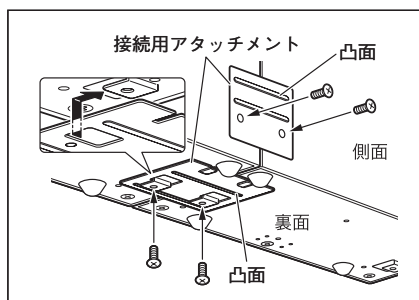
- 2 置くだけ集合充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面と側面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。

同様にして最大 3 台まで接続することができます。

※ 接続用アタッチメントは、表面が表になるように取り付けます。(溝が凸面になっている方が表面です。)



置くだけ集合充電器(HA-F36DCHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電圧定電流方式
充電時間	: 約3時間(標準充電電池パック) 約5.5時間(大容量充電電池パック)

2. 電源部

使用電源	: AD-S60160B
消費電流	: DC16V 1.25A (1台) DC16V 3.7A (3台連結)

本体(DT-X100)出力: DC5V 1.6A (MAX)

3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S60160B
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.5A
出力	: DC16V 3.7A

4. 外形寸法・質量

外形寸法	: 約189(幅)×80(奥行)×110(高さ)mm
質量	: 約540g

5. 動作環境

動作温度	: 0～40℃
動作湿度	: 30～80% RH (結露なきこと)

使用上のご注意

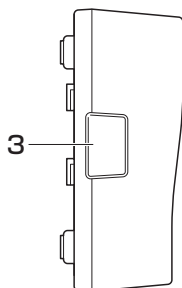
- 給電端子は絶対にショートさせないでください。
ショートさせると故障の原因となります。
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のためACアダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- DT-X100を装着する際は、置くだけ集合充電器にしっかりと装着し、DT-X100のインジケータ1の表示で装着されたことを確認してください。
- 接続用アタッチメントは置くだけ集合充電器1台につき、裏面用と側面用各1枚付いています。複数の置くだけ集合充電器を接続すると、接続用アタッチメントがそれぞれ1枚ずつ余ります。余分の接続用アタッチメントは予備として保管してください。
- 置くだけ集合充電器を2台以上接続するときは、必ずACアダプタを抜いてから接続してください。
- DT-X100の電源をOFFにしてからセットしてください。
- 置くだけ集合充電器は平らな場所に設置し、DT-X100の着脱は、静かに確実に行ってください。

デュアル充電器(HA-F32DCHG)の取り扱い

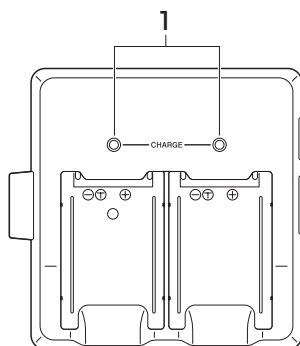
別売のデュアル充電器(HA-F32DCHG)は、充電電池パック2個を同時に充電することができます。

各部の名称とはたらき

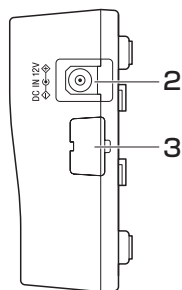
左側面



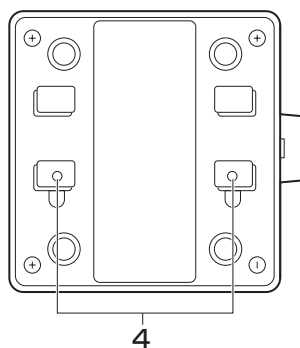
上面



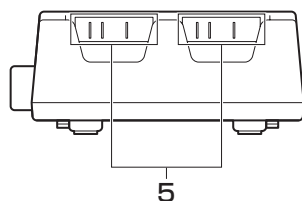
右側面



裏面

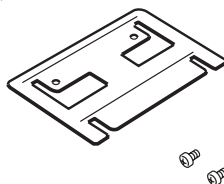


正面



付属品

接続用アタッチメント
ネジ2本



1	充電表示用 LED	充電電池パックの充電状態を表します。 消灯 : 充電しないとき 赤色点灯 : 充電中 赤色点滅 : 電池パックの異常 緑色点滅 : 充電待ち状態 緑色点灯 : 充電完了
2	AC アダプタジャック	AC アダプタ (別売) を接続して電源を供給します。
3	デュアル充電器接続用端子	デュアル充電器どうしの接続に使います。
4	接続用アタッチメント取り付け部	デュアル充電器を2台以上接続する際に、接続用アタッチメントを取り付けます。
5	給電端子	充電電池との接続端子です。

使用上のご注意

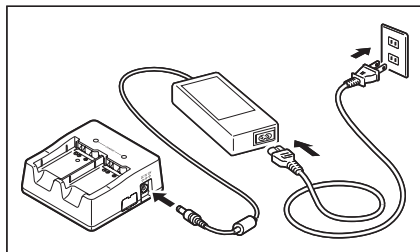
- 給電端子は水などで濡らすと感電や発火の原因となり、また汚れていると接触が悪くなり充電機能が低下します。安全のため AC アダプタを抜いてから、給電端子を乾いた布や綿棒などで拭いて清掃してください。
- 充電中に充電電池が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 充電中は充電器の上にカバーをするなど物を乗せないでください。
- 充電中は充電電池を外したり AC アダプタを抜いたりしないでください。
- 充電電池の着脱を何回も繰り返すと、充電電池の劣化の原因となります。
- 接続用アタッチメントはデュアル充電器一台に一つ付属しています。
複数のデュアル充電器を接続すると、接続用アタッチメントが一つ余ります。
余った接続用アタッチメントは予備としてお使いください。

充電のしかた

デュアル充電器の電源は、別売の AC アダプタ（AD-S42120B）を使用してください。

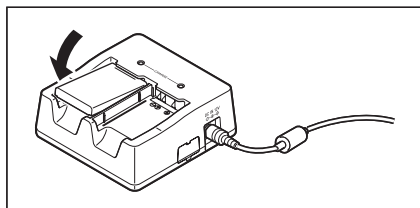
1 デュアル充電器のACアダプタジャックに ACアダプタのコネクタを差し込みます。

2 別売の専用ACアダプタのプラグをコンセントに接続します。



3 充電電池パックの端子の方向に注意してデュアル充電器に取り付けます。

充電表示用LEDが、赤色に点灯して充電が開始されます



充電表示用 LED の表示

消灯 : 充電しないとき

赤色点灯 : 充電中

赤色点滅 : 充電電池パックの異常

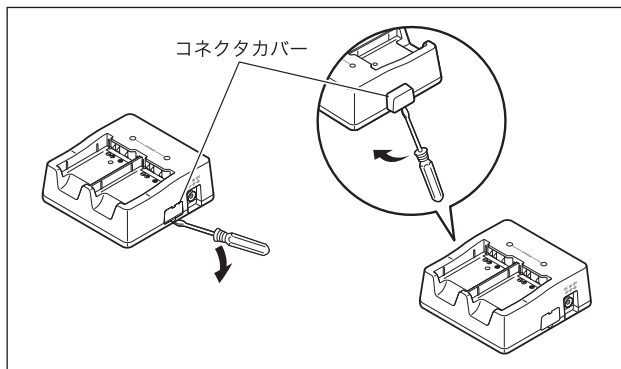
緑色点灯 : 充電完了

緑色点滅 : 充電可能温度（約 0 ～ 40℃）でないため待機中（充電可能温度になると充電開始）

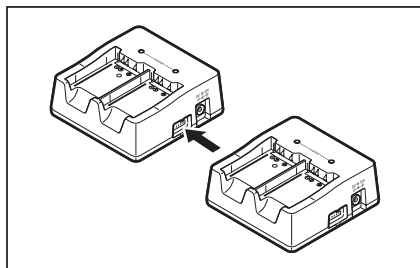
2 台以上の接続

デュアル充電器を 3 台まで接続して、1 つの AC アダプタで使うことができます。

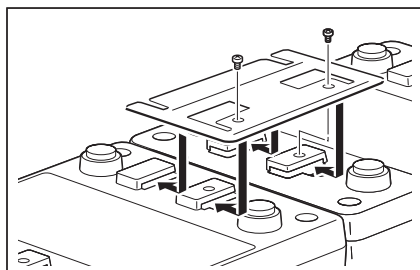
- 1 接続する側のコネクタカバーを取り外します。



- 2 デュアル充電器接続用コネクタを接続させます。



- 3 裏面に接続用アタッチメントを取り付け、ネジで固定します。
同様に最大 3 台まで接続することができます。



デュアル充電器(HA-F32DCHG)の仕様

1. 充電仕様

充電方式	: 定電圧定電流方式
充電時間	: 1 個を装着した場合 約 3 時間 (標準充電電池パック 1 個) 約 5.5 時間 (大容量充電電池パック 1 個) 2 個を同時に装着した場合 約 5.5 時間 (標準充電電池パック 2 個) 約 10 時間 (大容量充電電池パック 2 個)

2. 電源部

使用電源	: AD-S42120C
消費電流	: DC12V 3.5A
出力	: DC4.2V 1.1A

3. ACアダプタ仕様

規格名	: AD-S42120C
入力	: AC100-240V 50/60Hz 1.2A
出力	: DC12V 3.5A

4. 外形寸法・質量

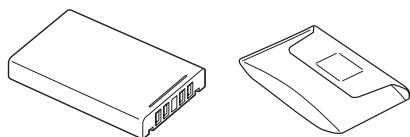
外形寸法	: 約 108 (幅) × 104 (奥行) × 45 (高さ) mm
質量	: 約 152g

5. 動作環境

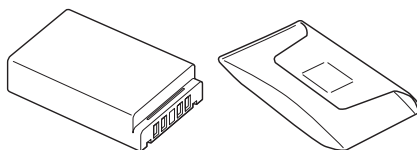
動作温度	: 0 ~ 40℃
動作湿度	: 30 ~ 80% RH (結露なきこと)

充電電池パック(HA-F20BAT/HA-F21LBAT)の取り扱い

HA-F20BAT



HA-F21LBAT



本機は、ご使用時間やご使用環境(オプションの使用など)に応じ、2種類の容量の充電電池パックを用意しております。

大容量充電電池パックをご使用になる場合は、同梱の大容量充電電池パック専用のカバーに交換してください。

使用上のご注意

- 充電電池パックを本体から外して保管するときは、必ず専用のソフトケースに入れてください。
- 充電電池パックは使用していなくても時間とともに性能が低下します。この充電電池パックを満充電にしても使用時間等の性能が満足できない場合は、寿命と思われるので、新しいものと交換してください。
- 充電電池パックをお買い求めいただく際には、カシオ純正の充電電池パックをご購入ください。

標準充電電池パック (HA-F20BAT) の仕様

型式	: HA-F20BAT
公称容量	: 1100mAh
公称電圧	: 3.7V
外形寸法	: 約幅 36 × 奥行き 55 × 高さ 9mm
重量	: 約 28g
付属品	: ソフトケース

大容量充電電池パック (HA-F21LBAT) の仕様

型式	: HA-F21LBAT
公称容量	: 1880mAh
公称電圧	: 3.7V
外形寸法	: 約幅 36 × 奥行き 55 × 高さ 14mm
重量	: 約 46g
付属品	: ソフトケース

■ ハンドベルト(HA-F95HB)の取り付けかた

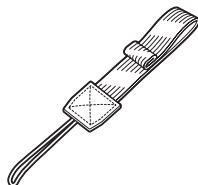
ハンドベルト (HA-F95HB) は、DT-X100 に取り付けて使用します。

同梱品

・取り付け用パーツ



・ハンドベルト



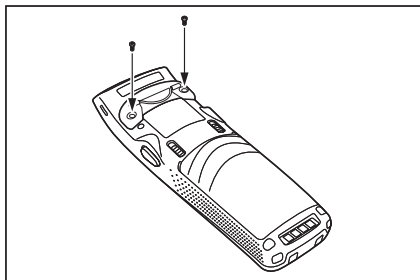
・ネジ 2本



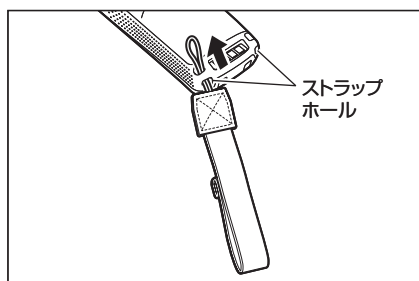
取り付けかた

次の手順で取り付けてください。

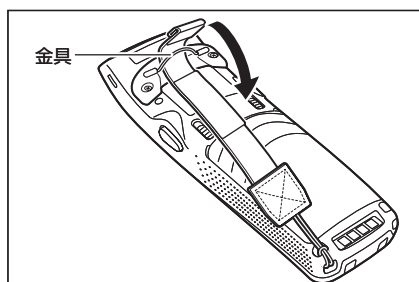
- 1 DT-X100 を裏返します。
- 2 DT-X100 の背面に、取り付け用パーツを取り付け、同梱のネジで固定します。(2か所)



- 3** ハンドベルト先端のひもを、DT-X100下側のストラップホールに通します。(2カ所のどちらかに通します)



- 4** 取り付けパーツの金具にベルトを通し、折り返して面ファスナーで固定します。



使用上のご注意

- ハンドベルトを取り付けたDT-X100をクレードルなどに装着するときはしっかり装着し、クレードルの電源表示用LEDやDT-X100のインジケータで装着されたことを確認してください。
正しく装着されないと、充電や通信が行えません。

修理に関する窓口

修理の相談窓口

- 修理依頼前の故障・修理・機能に関するご質問に電話でお答えします。

情報機器コールセンター



0120-002906

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～土曜日

AM9:00～PM5:30

(日・祝日、弊社指定休業日は除く)

修理品受付窓口

- 修理依頼後の返却予定日、修理料金、故障内容などの問い合わせにつきましては下記窓口にお問い合わせください。

カシオPAリペアセンター



0120-655336

携帯電話からもご利用いただけます。

受付時間：月曜日～金曜日

AM9:00～PM5:30

(土・日・祝日、弊社指定休業日は除く)

住 所：〒208-0023

東京都武蔵村山市伊奈平
3-28-2

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

PN430142-005
MO2303-E

©2015 CASIO COMPUTER CO., LTD.